

図書館員が選ぶおすすめの本

～高学年向け（小5,6）～



「ヘンダワネのタネの物語」

新藤悦子 // 作 丹地陽子 // 絵 ポプラ社

「ヘンダワネ」っていったい何？それは読んでのお楽しみ。
イラン人の男の子「アリ」と、へんな女子といわれる「直」をヘンダワネの力が結んだ物語。

「私が今日も、泳ぐ理由 パラスイマー 一ノ瀬メイ」

金治直美 // 文 学研プラス

生まれつき右ひじから先がないパラスイマー、一ノ瀬メイが「泳ぎで未来を変える!」。キュートでパワフルなメイちゃんが、全力で頑張る姿に感動します。



「槍ヶ岳山頂」

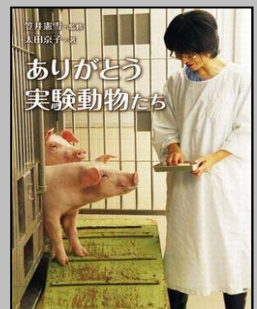
川端 誠 // 作 BL 出版

お父さんにつれられて北アルプスにやって来たけど…。激しい雨や、険しい山道など大変なことばかり。
途中で「くるんじゃなかった」「もうだめだ」と何度も思ったけど…頑張ってゴールしたその先には…?

「ありがとう 実験動物たち」

笠井憲雪 // 監修 太田京子 // 著 岩崎書店

実験動物のことを知っていますか？
実験動物とは、私たちの健康や科学の発展のための実験に使われる動物のことです。この本では、実験動物たちのお世話をしている女性が、どんな思いを持っているかが書かれています。



※対象年齢は目安です。
※裏面もごらんください。





図書館員が選ぶおすすめの本



～高学年向け（小5,6）～

「六千人の命を救え！外交官・杉原千畝」

白石仁章 // 著
PHP出版



迫害された多くのユダヤ人のために、外務省上層部の命令にそむいてまで、ビザを出し続けた杉原千畝のお話です。

「むかしのくらし思い出絵日記 1～3」

たかい ひろこ // 著
ポプラ社



関西地方にすんでいた著者が、昭和初期の暮らしを、イラストを使ってわかりやすく説明しています。

「いのちをつなぐ

セラピードッグをめざす被災者の犬たち」

大木トオル // 著
岩崎書店



震災と原発事故で飼い主と離れてしまった犬たちを保護し、セラピードッグに育てるまでの記録です。

「戦争といのちと聖路加国際病院ものがたり」

日野原重明 // 著
小学館



100歳をこえても、なお、現役の医師 日野原重明先生が戦中戦後の聖路加国際病院で、どんな出来事があったのかを語ります。

「卒業の歌～ぼくたちの挑戦～」

本田有明 // 著
PHP研究所



今まで、何をやってもダメだった6年3組が小学校最後の合唱コンクールに向けて、団結していく物語です。

「ほんとうのことをいってもいいの？」

パトリシア・C・マキサック // 文
ジゼル ポター // 絵
ふくもと ゆきこ // 訳 BL出版



初めてついたうそに後悔したから、もう絶対うそはつかない！と思ったけど、本当の事だけを言おうとすると、友達とけんかになっちゃうし…。みんなも読んで考えてみよう！

「新津春子。世界ーのおそうじマイスター！」

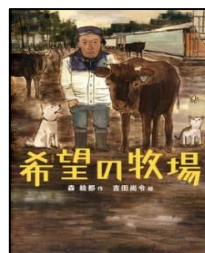
若月としこ // 著
岩崎書店



世界ー美しい空港で、清掃のプロとして働く、新津春子さん。どんな仕事でも、誇りとプロの意識を持って働いている人は、カッコイイですね！

「希望の牧場」

森 絵都 // 作 吉田尚令 // 絵
岩崎書店



震災のあとに発生した原発事故によって、「立ち入り禁止区域内」にある希望の牧場。牛飼いだから牛の世話をする。シンプルだけど、心にしみる絵本です。